1 調查名称:福島都市圈総合都市交通体系調查

2 調査主体:福島県

3 調査圏域:福島都市圏

4 調査期間:平成22年度~平成24年度(予定)

5 調査概要:

県都福島市を擁する福島都市圏(福島市・二本松市・伊達市・桑折町・国見町・川俣町)を対象に、都市交通を総合的に検討できる交通実態調査(パーソントリップ調査等)を実施し、その調査結果からの現況分析及び都市交通マスタープランの策定を行う。

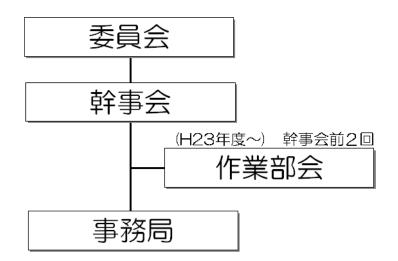
平成22年度は、予備調査結果を踏まえ、パーソントリップ調査実施に向けた計画準備、本体調査及び付帯調査、補完・補正調査を実施し、マスターデータの作成を行うとともに、福島都市圏の現況分析及び課題を整理し、都市圏将来像の基礎検討を踏まえた将来像の検討を行う。

I 調査概要

- 1 調查名:福島都市圈総合都市交通体系調查
- 2 報告書目次
 - 1. 調査の概要
 - 1-1. 調査方針の検討
 - 1-2. 調査の全体計画の検討
 - 1-3. ゾーニングの設定
 - 1-4. 調査内容の検討
 - 1-5. 調査体制の検討
 - 1-6. 調査工程の検討
 - 2. 本体調査及び付帯調査
 - 2-1. 調査方法の検討
 - 2-2. 本体・付帯調査票の設計
 - 2-3. 調査対象者の抽出・整理
 - 2-4. 調査準備
 - 2-5. 調査の実施
 - 3. 補完·補正調査
 - 3-1. 補完・補正調査方法の検討
 - 3-2. スクリーンライン調査の計画・実施
 - 3-3. コードンライン調査の計画・実施
 - 4. マスターデータの作成
 - 4-1. データ処理方法の検討
 - 4-2. データの基礎処理
 - 4-3. オリジナルデータの集計
 - 4-4. 拡大処理

- 5. 現況分析と計画課題の整理
 - 5-1. 現況分析のためのデータ整備
 - 5-2. 現況分析
 - 5-3. 計画課題の整理
- 6. 都市圏将来像の基礎検討
 - 6-1. 都市圏の現況整理
 - 6-2. 広域計画の整理
 - 6-3. 個別計画の整理
 - 6-4. 市町村ヒアリング
 - 6-5. 都市圏の理念整理
 - 6-6. 将来像の方向性の検討
 - 6-7. 将来人口フレームの検討
- 7. 都市圏将来像の検討
 - 7-1. 将来像の基本方針の検討
 - 7-2. 将来像の目標の検討
 - 7-3. 都市圏構造の検討
- 8. PI·PR活動
 - 8-1. P I 活動の計画
 - 8-2. P I 活動の実施
 - 8-3. PR活動の計画
 - 8-4. PR活動の実施
- 9. 協議会の運営等及び資料作成

3 調査体制



【具体的な役割】

- ■委員会(委員長:福島大学名誉教授 鈴木 浩)
 - ・調査等の基本方針を決定する。
 - ・調査等について、組織全体を統括する。
 - その他、調査等に関する重要事項の決定を行う。
- ■幹事会(幹事長:福島県県北建設事務所長 小幡 雄治)
 - ・委員会の決定した基本方針に基づき、調査等の実施の方針を決定する。
 - ・調査等に必要な事項の検討を行う。

■作業部会

- ・都市交通を考える上で重要なテーマである「土地利用・まちづくり」、「公 共交通・道路」について、少人数の担当者レベルで、効果的かつ実現性 の高い総合都市交通計画の具体的な検討を行う。
- ・幹事会の前に2回程度開催する。
- ■事務局(福島県県北建設事務所 企画管理部企画調査課)
 - ・協議会の運営に関わる事務を行う。

4 委員会名簿等:

1	別表1 福島都市國都市交通推進協議会 顧問 [1]早稲田大学理工学部社会環境工学科 別表2 福島都市國都市交通推進協議会 委員会構成	教授 浅野	別表3.福島都市圏都市交通推進協議会中事事会構成員	
	1 福島大学 2 日本大学工学部土木工学科	海井 海井	[1] 日本大学工学部建築学科	雇間 作教授 土方 吉雄
1	3 日本大学工学部建築学科	土为	of the state of th	
4 日産市間工会の 4 日産市間工会の 5 契打・間工会の 5 2 日本	4 桜の聖母短期大学生活科学科 5 短負目 第二人 雑売浦 久人	准教授 二瓶 由美子 今官	福島商工会議所 一字均益工分業的	総合企画部内 日本人業指案房
会長 (大表校総代社長 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 抽局际间上大概灯煤口工6 福島県商工全連合会	大学		于小:近来怕欧川 女 事務
(**) 1月度町前工会 1月度町前工会 1月度町前工会 1月度町前工会 1月度町前工会 1月度町前工会 1月度町前工会 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1	7 社団法人福島県バス協会	公司		事務局長
(8 社団法人福島県タクシー協会	会長	国見町商工会	事務局長
 総務部企画室 企画部長 2 20 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70	9 福島交通株式会社	代表取締役社長	川俣町商工会	事務局長
1 日間を全面性表交子と 1 日間を全面性表交子と 1 日間を全面性表交子と 1 日間を全面性表交子と 1 日間を全面性表交子と 1 1 東 1 本部を建設は株式会社東北文社総合選整部 1 1 1 東 1 本部を建設は株式会社東北文社総合選整部 1 1 1 東 1 本部を建設は株式会社東北文社総合選整部 1 1 1 1 東 1 本部を建設は株式会社東北文社総合選整部 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	※ なかん 本	建設事業部長人面納官	8万万つ超上(別な日子)、 第4日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10	事務同長電子士物官
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	药物部 迂回	<u> </u>	<u>作団法人価商界タクンー協力 指員な選件ポクな</u>	聚化文部 校 新校 新年 新存化自然活动 巨
	12 四氏饮息日本艺术中13 福島民数社	人表取締役社長代表取締役社長	国面久理体込式に 福島な通株式会社	サイル文 Jay Ja Phy 大 数 介 後 目 福 島 支 丼 長
	14 福島民友新聞社	代表取締役社長	12 ジェイアールバス東北株式会社	福島支店長
14	15 公募委員	加藤 幸枝	東日本高速道路株式会社東北支社総合調整部	企画調整課長
	16 公募委員	古山 智子	東日本高速道路株式会社東北支社福島管理事務所	所長
	17 一般委員	渡辺 あゆ美	東日本旅客鉄道株式会社佃台支社総務部企画室四季電子の	企画課長
18 福島民友寿開社 18 福島民友寿開社 19 国土交通省東北地方整備局金的部 広崎高度 19 国土交通省東北地方整備局金的部 広崎高度 19 国土交通省東北地方整備局金的部 広崎高度 19 国土交通省東北地方整備局金的部 近路 19 国土交通省東北地方整備局金的部 近路 19 国土交通省東北地方整備局道路部 19 国	18 一枚安員10 一般来昌	佐藤 思丁 小野 洋子	<u>判政</u> 被急打体式完任 海阜中掛补	代表取締役 編集 記集 記事 記事
	20 上晚来自	7.3 计	国间心核压河自己扩张阻外	猛米
後藤 由美子 20 国土交通省東北地方整備局道路部 指引 企画部長 21 国土交通省東北地方整備局道路部 道路 建政部長 22 国土交通省東北地方整備局道路部 道路 企画關光部長 23 国土交通省東北地方整備局道路部 道路 企画關光部長 25 国土交通省東北地方整備局面局通河、国道事務所 技術 市長 25 国土交通省東北地方整備局面局通過所 校園 市長 25 国土交通省東北地方整備局面局運輸方局 校園 市長 27 経済産業省東北運輸局配島運輸支局 校園 町長 31 二本松市 総務 町長 32 個島市 総局局市 市長 33 日東市 総局局・企画部 総務 市長 33 日東市 総局局・企画部 総務 市長 33 日東市 総務 総務 10 福島県町工労働部関係部 40 福島県町工労働部関係部 企画 45 福島県町工大部 46 福島県町工大部 施 46 福島県北大部 46 福島県北大部 超島県北大部 47 福島県北北部 46 福島県北北部 超路県北北部 48 福島県北北部 48 福島県北北部 超島県北北部 49 福島県北北部 48 福島県北北部 超路県北北部 49 福島県北北部 48 福島県北北部 超路県北北部 49 福島県県北北部 20 国民県北北部	20 成为区		国西以次利用[J] 国十次通省审扩协方整備局企画部	看来 5000000000000000000000000000000000000
企画部長 2.1 国土交通省東北地方整備局道路部 道路 建皮部長 2.2 国土交通省東北地方整備局道路部 道路 企画額米部長 2.9 国土交通省東北地方整備局通路部 市極 企画額米部長 2.9 国土交通省東北地方整備局通路河川国道事務所 技術 市長 2.8 国土交通省東北地方整備局通路河川国道事務所 技術 市長 2.8 国島市 2.8 国島市 本海市 町長 3.0 福島市 2.8 福島市 新市 町長 3.1 二本松市 衛務 原属 3.2 伊達市 総数 原展 3.3 日東市 総数 房長 3.4 登市 総数 房長 3.8 川県町 企画 京都市 4.0 福島県南北水漁船 企画 京都 4.0 福島県南北水漁 金 北域 4.0 福島県東北水湾 金 4.0 福島県南北水湾 4.0 福島県東北水湾 金 4.0 福島県町北水部 4.0 福島県東北水湾 金 4.0 福島県東北水湾 4.0 福島県東北海 金 4.0 福島県北北部 4.0 福島県東北北部 金 4.0 福島県北北部 4.0 福島県北北部 金 4.0 福島県北北部 4.0 福島県北北部 金 4.0 福島県北北部 2.0 福島県北北部	22 一般委員	後藤 由美子	国土交通省東北地方整備局建政部	都市·住宅整備課長
国土交通省東北地方整備局 建設部長 2.2 国土交通省東北地方整備局通路部 道路部 国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 1 国土交通省東北地方整備局 市場 国土交通省東北地方整備局 企業部 企業部長 2.3 国土交通省東北地方整備局 市地方 超多左交通省東北地方整備局 企業部長 2.5 国土交通省東北地方整備局 市地方 超島市市 市長 2.5 国土交通省東北道輸局 市域 一本松市 市長 2.7 程方在業育東北道輸局 市域 運島県 市長 2.9 福島市 市場 運島県 市長 3.0 日本松市 市場 運島県 市長 3.0 日本松市 市場 運島県 市長 3.0 日本松市 総務 運島県 市長 3.3 伊達市 市 運島県 市場 第2 運島県 第2 1.4 福島県・本松市 総務 運島県 第2 1.4 福島県・本松市 総務 運島県 第3.7 田島県・本部 3.9 田島県・本松市 金融 国島県 1.4 福島県・北海湾 3.0 田島県・本部 金融 国島県・北海県 1.4 福島県・北海県・北海県・北海県・北海県・北海県・北海県・北海県・北海県・北海県・北海	23 国土交通省東北地方整備局	企画部長	国土交通省東北地方整備局道路部	道路計画第一課長
1974 1974	H	建政部長	国士交通省東北地方整備局道路部	道路計画第二課長
2.4 国上文通目状况的	国土交通省東北地方整備局 国土充法水事北地土軽海巨恒自	道路部長	<u>国士交通省東北地方整備局道路部</u> 司士衣達水畫北班士 數 建巨短官河川同溪事致武	地域道路課長 中統副第一
経済産業者東北経済産業局 産業院受験 26 国土交通省東北経済産業局 職務商 運動車 市長 27 路海底業者東北経済産業局 職務商 車 丁季松市 市長 28 届島市 事 丁季松市 町長 29 福島市 事 「国見町 町長 20 福島市 海島市 「西島県 10 福島市 海流路 「西島県 20 伊達市 総方 「西島県 20 伊達市 総方 「西島県県北地方振興局 20 伊達市 総方 「西島県県北地方振興局 20 伊達市 地面 「西島県東北地方振興局 20 伊達市 地面 「西島県東北地方・東側局 20 伊達市 企画 「西島県東北地方・東側局 20 伊達市 企画 「西島県北地方・東側の 20 伊達県市 企画 20 日見町 20 伊達県市 企画 21 福島県北地方・東側の 20 日見町 企画 22 「西島県北地方・海の 20 日見町 企画 23 日長県北地方・海島県東北地方・海島県東北市・大部 40 福島県県北部 新 40 福島県県北部 40 福島県県北部 40 福島県県北部 20 日間 40 福島県県北市 40 福島県県北部 20 日間 40 福島県県北部 40 西島県県北部 20 日間	国工父姐有果不见对方强猫肉值员 国士办话名审小谣懿员	/ 公面網米如真	当工父进有果心理方觉哺 应值点例 川西坦事務所 国土充滿多审心運輸 昆仑 兩細茅類	校/作副/方女
面島市 中 東 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地	100	<u> </u>	<u>自二久通昌宋北連輔周五昌職沿即</u> 国士交通省東北運輸局福島運輸支局	1 席運輸企画
二本松市 15 28 協島市 專務的 免疫性 15 29 協島市 專務的 免疫性 31 二本松市 經濟的 周見町 42 20 協島市 海院 加機器 23 日本松市 海院 個島県 42 24 基本市 企画 個島県 24 24 24 工本松市 企画 個島県 25 24 <t< td=""><td>福島市</td><td>市長</td><td>経済産業省東北経済産業局</td><td>服業的意義・消滅サービス服業馴長</td></t<>	福島市	市長	経済産業省東北経済産業局	服業的意義・消滅サービス服業馴長
保養市 1 内長 2.9 隔島市 都市 桑折町 1 大松市 1 大松市 2 大松市 2 大松市 2 大松市 2 大塚市 2 大阪市 2 大阪市 2 大阪市 2 大阪市 2 大阪市 2 大阪市 2 大町 3 大町	30 二本松市	市長	福島市	建設部長
業計則 別人本松市 集務的 周見用 20 本松市 (本松市) (本務的) 福島県 (本経市) (本経市) (本経的) 福島県 (本経市) (本 経的) (本 経的) 福島県 (本 経的) (本 経 経 統) (本 経 経 統) 41 福島県 (本 経 経 統) (本 経 経 統) (本 経 経 統) 42 福島県 (本 経 経 統) (本 経 経 統) (本 経 経 統) 43 福島県 (本 経 経 本 統) (本 経 経 統) (本 経 経 経 本 統) 44 福島県 (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) 45 福島県土木部 (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) 46 福島県土木部 (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) 47 福島県土木部 (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) 49 福島県土木部 (本 経 経 本 統) (本 経 経 本 統) (本 経 K X X X X X X X X X X X X X X X X X X	31 伊達市	中	福島市	都市政策部長
December	32	町屋	二本核市	彩苑部長
福島県 企画調整部長 33 伊達市 PERT 福島県 生活環境部長 35 桑析町 企画的 福島県 本語環境部長 37 国見町 企画的 福島県警奏本部 大部長 38 川俣町 企画的 福島県 大部長 38 川俣町 企画的 福島県 大部長 38 川俣町 企画的 福島県 40 福島県 福島県在山川県市 地域 41 福島県 福島県南土労働部 本記 42 福島県 福島県市 本部 43 福島県県北連設事務所 44 福島県北地方振興局企画商工部 超速 44 福島県土木部 45 福島県東土木部 25 国 46 福島県土木部 46 福島県土木部 25 国 47 福島県土木部 48 福島県土木部 25 国 48 福島県土木部 48 福島県土木部 25 国 49 福島県北連設事務所 49 福島県北連設事務所 5 国	베=	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	一种位置	建取即收 珍黎 企画 郊 馬
個島県 個島県 個島県警察本部 生活環境部長 内面の 大通島県警察本部 35 国見町 会議院 企画的 会談 (2011年) 福島県警察本部 14 福島県生活環境部 (2011年) 14 福島県北地方振興局企画商工部 (2011年) 企画的 (2011年) 福島県北建設事務所 所長 40 福島県北地方振興局企画商工部 (40 福島県土木部 (40 福島県東東部 (40 福島県土木部 (40 福島県土土 (40 福島県土木部 (40 福島県土木部 (40 福島県土木部 (40 福島県土土 (40 福島県土 (40 福島県土土 (40 福島県土土 (40 福島県土土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県土 (40 福島県 (40 田) (40 田) (- 1 人 - 6 画調整	伊藤子	全部部長
福島県 福島県県北地方振興局 商工労働部長 方面部長 五十部長 35 桑析町 39 川侯町 福島県県北建設事務所 加域 上本部長 40 福島県衛工労働部 41 福島県衛工労働部網米交流局 42 福島県衛工労働部網米交流局 44 福島県衛工労働部網米交流局 45 福島県北地方振興局企画商工部 46 福島県北地方振興局企画商工部 46 福島県北地方振興局企画商工部 46 福島県北地方振興局企画商工部 46 福島県北地方振興局企画商工部 47 福島県北地方振興局企画商工部 48 福島県北地方振興局企画商工部 48 福島県北地方振興局企画商工部 49 福島県北地方銀州高企画商工部 49 福島県北地方銀州高企画商工部 49 福島県北地方銀州高企画商工部 49 福島県北地方銀州高企画商工部 49 福島県北地方銀州高企画商工部 49 福島県北地方銀州高企画商工部 49 福島県北地方東東南南工部 49 福島県北地 3 本 49 福島県北地設事務所	36 福島県	生活環境部長	松が町	企画環境課長
福島県県北地方板戦局 局長 36 国見町 企画的 福島県警察本部 文画部長 37 国見町 企画的 福島県 1 大部長 38 川侯町 企画 福島県北建設事務所 所長 40 福島県企画調整部 地談 41 福島県県北建設事務所 42 福島県南江労働部観光交流局 超光 44 福島県衛江労働部側工労働部側工労働部側工労働部 電影 45 福島県衛江労働部側工労働部側工労働部 電影 46 福島県衛江労働部 東京 47 福島県衛江労働部 東京 48 福島県北北東設市部交通部 支路 48 福島県北北東設市務所 第 計 49 福島県北洋設部事務所 新市 49 福島県北洋設部事務所 所長		商工労働部長	桑折町	地域整備課長
福島県警察本部 交通部長 37 国县町 建設者 福島県 土木部長 38 川侯町 企画 福島県県北建設事務所 所長 40 福島県生活環境部 上北 41 福島県県土港環境部 41 福島県南工労働部 上北 42 福島県南工労働部 海家主 44 福島県県北地方振戦局企画商工部 瀬水 45 福島県北大部 東京 48 福島県土木部 東京 49 福島県北建設事務所 新市 49 福島県北建設事務所 所長		局長	国見町	企画情報課長
(福島県) 工不部長 38 川侯町 企園館 40 福島県北建設事務所 40 福島県土在環境部 土在 路景 41 福島県土在環境部 土 福島県南工労働部 土 在 路景 42 福島県南工労働部 土 (五島県南工労働部 土 (五島県南工労働部 東京 43 福島県南工労働部 東京 44 福島県南北地方接襲局企画商工部 東京 45 福島県土木部 直路 46 福島県土木部 東京 47 福島県土木部 東西 48 福島県土木部 東南 49 福島県土木部 新市 49 福島県土木部 新市 49 福島県土木部 新市 49 福島県東土木部 新市		交通部長	国見町	建設課長
I I I I I I I I I I	福丽	上 子 男 一	(矢町)	企画財奴群友
福島県生居環境部 生活 福島県商工労働部 商業主福島県南工労働部 福島県県北地万振戦局企画商工部 観光 福島県土木部 道路 福島県土木部 直路 福島県土木部 188 福島県土木部 188 福島県土木部 188 福島県土木部 188 福島県土木部 188 福島県東北建設事務所 所長	四国	DIX	川天町 短自具企画調整架	是
福島県商工労働部 商業主福島県南工労働部観光交流局 観光3 福島県県北地万振興局企画商工部 地域で国際 福島県土木部 道路部 福島県土木部 1 路部 福島県土木部 第6 福島県土木部 指加 福島県土木部 指加 福島県北海歌事務所 所長				生活交诵課長
福島県南工労働部観光交流局 福島県県北地方振興局企画商工部 観光3 地域づ 交通共 高島県土木部 大通 道路 直路 高島県土木部 福島県土木部 福島県土木部 新市 額局県土木部 福島県土木部 新市 福島県土木部 新市 福島県北地郡 新市 福島県北建設事務所 所長			福島県商工労働部	極様状や が が が が が が が が が が が が が
福島県県北地方振戦局企画商工部 地域づ 福島県警察本部交通部 交通 福島県土木部 道路 福島県土木部 第6 日本 第6 日本 第7 日本 第1 日			福島県商工労働部観光交流局	観光交流課長
伯島県警袋本部父連部 福島県土木部 福島県土木部 福島県北津設事務所			福島県県北地方振興局企画商工部	地域がくり・商工労政課長
福島県土木部 福島県土木部 福島県県北建設事務所			個島県警察本部交通部 短負目十米数	公庫規制課長 治股計画準后
福島県王木部 福島県県北建設事務所			国的 <u>於</u> 十六即 猫角県十大部	■配品 回転及 またづくり 推進課長
福島県県北建設事務所			福島県土木部	都市計画課長
			福島県県北建設事務所	所長

国土交通省東北地方整備局企画部広城計画課	計画調整係長
国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所調査第二課	調査係長
福島市都市政策部都市計画課	都市計画係長
二本松市建設部都市計画課	計画係長
尹達市建設部都市計画課	都市計画係長
桑折町地域整備課	都市整備係長
国見町建設課	管理係長
侯町建設水道課	管理係長
福島県土木部道路計画課	副課長
	主幹
島県土才	副課長
島県土才	主査
福島県県北建設事務所	企画管理部長
福島県県北建設事務所企画管理部	企画調査課長
福島県県北建設事務所企画管理部企画調査課	主査
島県県	主査
福島県県北建設事務所企画管理部企画調査課	副主査
1月月 三 三 年 等 七 十 学 11 人 计 5年 自 15 人 计 11 日 十 6	- India

別表4 福島都市圏都市交通推進協議会 作業部会構成 (十組列用・キャペト)	福島市都市政策総都市計画課 二本松市総務部企画財政課 一本松市総務部企画財政課 伊達市総務企画部企画調整課 伊達市建設部都市計画課 桑折町地域整備課 国見町全記財政課 国見町全記財政課 国見町全記財政課 国島県南工労働部観光交流局観光交流 福島県市出立表書の名くり課 福島県上木部まちづくり推進課 福島県土木部まちづくり推進課 福島県北地方衰襲島企順商工部地域づくり 福島県北地方衰襲局企順商工部地域づくり	度日本旅客鉄道株式会社仙台支社総務部企画室企 個島交通株式会社對業企画部 河東急行株式会社営業企画部 福島交通株式会社営業企画部 社団長立通大人居島東及市 社団長大届島東方高島河川国道事務所調查第 展出大局場連路株式会社東北支社福島管理事務 福島市都市政策部部市計画課 経計工作総務企画部企劃整課 国見町全設部都市計画課 国見町全設部都市計画課 国見町企画情報課 国見町企画構整課 個島県企画調整部市計画課 福島県本の調整部本計多額 個島県本の調整部本計画課 個島県本の調整部部市計画課 福島県本の調整部 福島県本が高路計画課 福島県本が高路整備課 福島県土木部道路整備課 福島県土木部道路整備課 福島県土木部道路整備課 福島県主大部道路整備課 福島県主大部道路整備課 福島県主大部道路整備課 福島県主大部道路整備課 福島県主大部道路整備課 福島県主大部道路整備課 福島県土大部道路整備課 福島県土大部道路整備課
富	122240000000000000000000000000000000000	2

Ⅱ 調査成果

1 調査目的

福島県のこれまでの都市交通計画は、人口の増加と交通容量の不足を背景として、量的な拡大をねらいとした都市交通施設の計画を中心として検討されてきた。

しかし、近年は、人口減少、少子高齢化、郊外への公共公益施設や大型店・住宅の立地、交通渋滞の集中、環境問題、公共投資額の削減等を背景に、政策目標に対して効率的かつ重点的な都市交通計画を提案することが求められている。

さらに、行政の取り組み全般に対して、効率性や効果、透明性・公平性を重視 した行政マネジメントの計画策定及び施策実施等が必要である。

また、郊外への大型店立地を規制する「福島県商業まちづくり条例」の施行、地域の実情や特性に応じた都市計画制度の運用方針を策定する「新しい時代に対応した都市政策」策定専門小委員会の提言、さらには長期未着手都市計画道路の廃止を含めた見直し等、多面的な都市行政が重要となっている。

これらの現状及び背景等から、具体的に以下の観点を踏まえ、新しい都市交通計画を策定する必要がある。

- ○中心市街地の衰退、少子高齢化社会の進行、環境負荷の増大に対応する土地利用や、公共交通の利活用等を含めた総合的な都市交通対策の検討が必要である。
- ○モータリゼーションが進展し、生活圏と都市機能が無秩序に拡散している中、今後の都市構造や都市交通計画等のあり方について、市町村の枠組みを超えた検討が必要である。
- ○鉄道・バス、道路等、既存施設の活用や、都市計画道路の整備など、ハードとソフトが一体となった都市交通計画が必要である。
- ○社会経済情勢の変動が大きい中、長期計画はもとより短中期計画にも対応 した戦略的な政策が必要である。
- ○交通の主体である県民へのアカンタビリティの向上と、官民協働による計画づくりが必要である。
- ○合併市町村の新たなまちづくりの実現に向けて、合併市町村の一体化に資する計画づくりが必要である。
- ○財政状況を踏まえる必要がある。
- ○福島都市圏の特性を生かした、独自性の強い都市交通計画が必要である。

これらのことを踏まえながら、県都福島市を擁する福島都市圏(福島市・二本 松市・伊達市・桑折町・国見町・川俣町)を対象に、都市交通を総合的に検討で きる交通実態調査 (パーソントリップ調査等)を実施し、その調査結果からの現 況分析及び都市交通マスタープランを策定する。

2 調査フロー

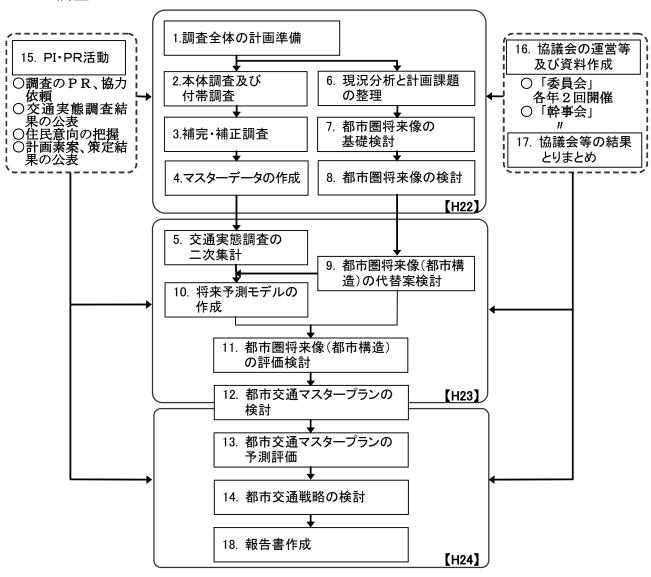


図-調査全体フロー(平成22年度~平成24年度)

3 調査圏域図

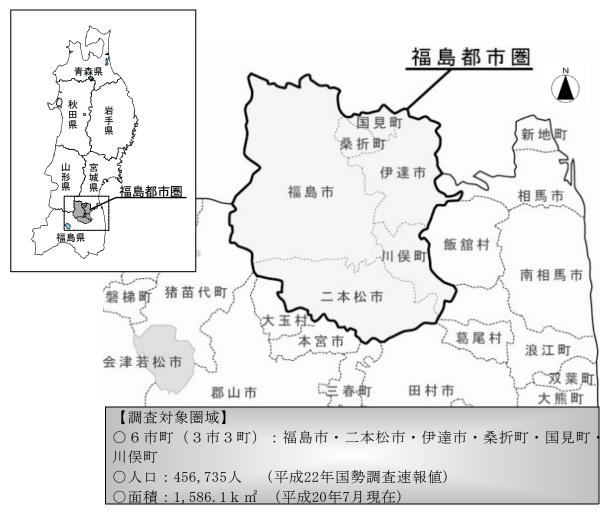


図-調査対象地域

4 調査成果

- 1)パーソントリップ調査、付帯調査
 - (1)パーソントリップ調査、付帯調査の実施方法
 - ①調査対象者

福島都市圏(6市町)に居住している5歳以上の方を対象に実施した。

②ゾーニングの設定

ゾーニングの設定は、地域特性、他調査との整合、課題への対応を考慮し 84とした。

③調査方法

10月に国勢調査、道路交通情勢調査、全国PT調査(国見町)が実施予定であり、調査対象者の重複を避け10月下旬に実施した。

調査方法は、個人抽出した名簿をもとに「郵送配布・郵送回収方式」を用いて「世帯単位」に発送した。

・発送組合せ① 平日票、休日票 同封 33,000通
 ・発送組合せ② 平日票、付帯調査票 同封 37,100通
 ・発送組合せ③ 平日票のみ 23,900通

計 約94,000通

④抽出方法

<平日>

- ○目標抽出率: 6.26%
- ○目標回収数: 約28,200票
- ○抽出率(目標抽出率/有効回収率):20.87% ※有効回収率:郵送配布・郵送回収方式による

他都市圏実績より30%と設定

○抽出数(母集団×抽出率): 約94,000票(当初想定数)※母集団:都市圏5歳以上人口 450,465人(H17国勢調査より)

<休日>

- ○目標抽出率: 2.26%
- ○目標回収数: 約9,800票
- ○抽出率(目標抽出率/有効回収率):7.23% ※有効回収率:郵送配布・郵送回収方式による

他都市圏実績より30%と設定

- ○抽出数(母集団×抽出率): 約33,000票(当初想定数)※母集団:都市圏5歳以上人口 450,465人(H17国勢調査より)
- (2)付帯調査の実施方法 交通環境に関する意識調査-

①調查対象者

福島都市圏(6市町)に居住している15歳以上の方を対象に実施した。

②ゾーニングの設定

ゾーニングの設定は、パーソントリップ調査同様、84とした。

③調査方法

発送分をパーソントリップ調査票と合わせて同封し、配布した。

- ④抽出方法
 - ○目標抽出率: 2.76%
 - ○目標回収数: 約11,100票
 - ○抽出率(目標抽出率/有効回収率):9.20% ※有効回収率:郵送配布・郵送回収方式による

他都市圏実績より30%と設定

- ○抽出数(母集団×抽出率): 約37,100票(当初想定数)※母集団:都市圏15歳以上人口 403,471人(H17国勢調査より)
- (3)付帯調査の実施方法 -観光地の交通アクセス強化-
- ①調査対象者

以下の観光地への来訪者を対象に実施した。

- ・飯坂温泉、高湯温泉、土湯温泉(福島市)
- ・岳温泉、霞ヶ城(二本松市)
- ・霊山(伊達市)
- ②調查方法

観光地の来訪者に対して直接ヒアリング調査を実施した。

- ③抽出方法
 - ○目標抽出率: 2.43%
 - ○目標回収数: 約300票
- (4)パーソントリップ調査、付帯調査の回収状況

目標回収数に達しない場合、追加調査を実施する必要があるがその影響を 最小限とするため、配布数を割り増しして実施した。

※当初想定 94,000票 → 配布128,200票 (1.36倍)

その結果、各調査票の回収は良好であり、目標回収票数を達成した。

【調査票A(世帯票)、調査票B(個人票:平日)】

	発送数 (票) ①	目標数(票)②	有効回収数 (票)③	有効回収率 (%) ③/①	達成率 (%) ③/②
福島市	76,094	17,768	21,406	28.1	120.5
二本松市	18,783	3,788	4,393	23.4	116.0
伊達市	20,931	4,165	4,848	23.2	116.4
桑折町	3,961	807	1,238	31.3	153.4
国見町	3,177	646	821	25.8	127.1
川俣町	5,265	1,026	1,429	27.1	139.3
都市圏計	128,211	28,200	34,135	26.6	121.0

【調査票B(個人票:休日)】

	発送数 (票) ①	目標数 (票) ②	有効回収数 (票)③	有効回収率 (%) ③/①	達成率 (%) ③/②
福島市	26,200	6,175	6,780	25.9	109.8
二本松市	6,681	1,317	1,518	22.7	115.3
伊達市	7,297	1,447	1,587	21.7	109.7
桑折町	1,374	280	419	30.5	149.6
国見町	1,116	225	257	23.0	114.2
川俣町	1,756	356	450	25.6	126.4
都市圏計	44,424	9,800	11,011	24.8	112.4

【付帯調査票】 - 交通環境に関する意識調査 -

	発送数 (票) ①	目標数(票)②	有効回収数 (票)③	有効回収率 (%) ③/①	達成率(%) ③/②
福島市	30,129	6,982	7,985	26.5	114.4
二本松市	7,205	1,492	1,575	21.9	105.6
伊達市	8,508	1,639	1,898	22.3	115.8
桑折町	1,628	321	409	25.1	127.4
国見町	1,295	257	310	23.9	120.6
川俣町	2,200	409	557	25.3	136.2
都市圏計	50,965	11,100	12,734	25.0	114.7

【付帯調査票】 -観光地の交通アクセス強化-

調査箇所	票数
飯坂温泉(旧堀切邸)	43
高湯温泉(あったか湯駐車場)	72
土湯温泉(足湯周辺)	60
岳温泉(ヒマラヤ大通り)	39
霞ヶ城(霞ヶ城公園駐車場)	96
霊山(霊山こどもの村駐車場)	60
計	370

2) オリジナルデータによる都市圏の問題・課題の検証

都市圏の17の問題と5つの課題について、オリジナルデータをもとに検証を 行った。

都市圏が有する問題	課題対応	都市圏の都市交通の改善に向けた課題
①人口減少の進行	→1, 2	
②少子・高齢化の進行	→1, 2, 3	課題1:賑わいのある
③福島市へ集中する通勤・通学流動	→1, 2	まちを創る都市交通
④中心市街地の空洞化、外縁部での低密度な市街地の拡大	→1	
⑤市街地が郊外へ点在、分断	→1	課題2:都市圏の交流・連携を
⑥福島市への依存による周辺市町の停滞	→2, 4	高める都市交通
⑦産業、経済活動の停滞	→4	
⑧不十分な観光地相互の連携	→5	
⑨歴史、文化的な観光資源の活用が不十分	→5	/ 課題3:安全、安心して
⑩乗客が減少しているバス、鉄道、タクシー	→2	暮らせる都市交通
⑪駅前広場の未整備、駐車場の不足	→2	
⑫過度な自家用車依存	→2, 4	課題4:産業・経済活動を
③放射・環状道路などの整備の遅れ	→1, 4	支援する都市交通
⑭依然残るボトルネック ^{※5} 、急カーブ等の未整備区間	→2, 4	
⑮混雑、渋滞の発生	→1, 4	
⑥ぜい弱な道路・都市防災	→3	課題5:観光資源を活用する
⑪徒歩・自転車の安全確保の遅れ	→3, 4	都市交通

図-福島都市圏が有する問題及び5つの課題

〇課題1:賑わいのあるまちを創る都市交通

【データの結果】

休日交通の買物トリップ全体に対する大ゾーン別買物トリップの割合を みると、

福島市:南矢野目、黒岩・蓬莱、

鎌田、福島駅東口周辺、

吉倉・八木田

にて高い傾向があり、商業施設が点 在している。

【課題の検証】

市街地の拡大が確認でき、今後、さらなる拡大を抑制する必要がある。



南矢野目 福島駅 東口周辺 諸田 黒岩 蓬莱

図-休日交通の買物トリップ全体に対する 大ゾーン別買物トリップの割合(目的地)

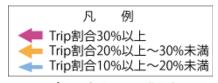
〇課題2:都市圏の交流・連携を高める都市交通

【データの結果】

平日の通勤・通学における市町間ト リップ割合をみると、伊達市、桑折 町、国見町、川俣町、二本松市から 福島市への割合が高い。

【課題の検証】

福島市への依存が確認でき、市町間の利便性を向上する効率的な交通網の整備が重要と考える。



※トリップ(Trip)割合 10%未満を除く。

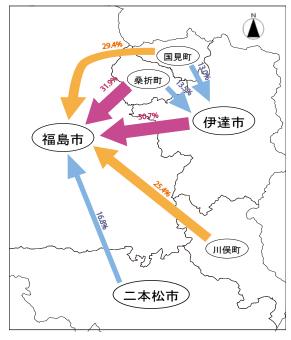


図-市町間通勤・通学トリップ割合 (平日、目的地ベース)

〇課題3:安全・安心して暮らせる都市交通

【データの結果】

平日の年齢階層別外出率をみると、60歳以上の外出率が低下し、年齢階層別平均トリップ数(グロス)では、なだらかに低下している。

【課題の検証】

高齢社会による移動制約者の増加から、移動手段の確保が重要と考える。

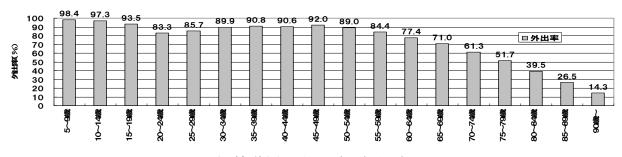


図-年齢階層別外出率(平日)

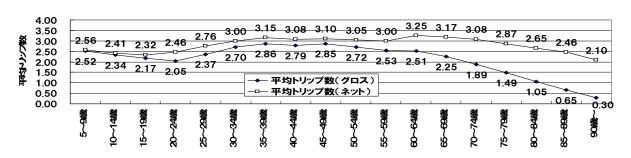


図-年齢階層別平均トリップ数(平日)

【データの結果】

平日の60歳以上の年齢階層別・代表交通手段別※13トリップ構成に注目してみると、高齢になるにつれ、徒歩、バスの割合が高くなるものの、全ての階層において自動車の割合が最も高い。

【課題の検証】

高齢者が、安全・安心して 移動できるよう交通手段ごと の潜在的な問題について、さ らに分析を進めていく必要が あると考える。

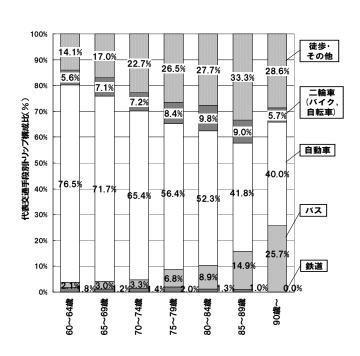


図-年齢階層別・代表交通手段別トリップ構成(平日)

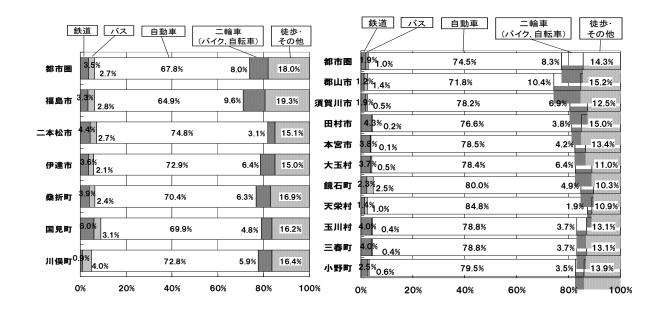
〇課題4:産業・経済活動を支援する都市交通

【データの結果】

平日の代表交通手段別トリップ構成比を郡山都市圏と比較してみると、 自動車の割合が約68%と低く、公共交通機関(鉄道、バス)や徒歩等の割 合が高い。

【課題の検証】

渋滞状況を確認しながら、適切な自動車分担率の目標設定と公共交通機関のさらなる利用促進を検討する必要がある。



図ー代表交通手段別トリップ構成比 (福島都市圏:平日)

図ー代表交通手段別トリップ構成比 (郡山都市圏:平日)

〇課題5:観光資源を活用する都市交通

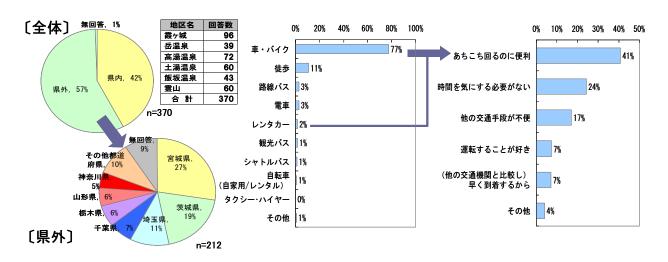
【データの結果】

都市圏内観光地に、県外から約6割が来訪。宮城県のほか、関東方面の 割合が高い。

周遊時の交通機関は、「車、バイク」が約8割を占める。理由として「あ ちこち回るのに便利」、「時間を気にする必要がない」が多く、移動の利便 性を回答している人が多い。

【課題の検証】

今春予定している花見山(福島市)のヒアリング結果を踏まえ、観光拠点間の連携等について検討していく。



図ー出発地別の来訪者割合

図-周遊時に利用する交通機関 図

図 - 自動車、バイク、レンタカー を利用する理由

3)都市圏の将来人口(総人口)

将来人口は、将来の都市圏内人口の多少によって発生する交通量等も変わってくる事から、将来の福島都市圏の交通量を予測する上で最も重要な要素となる。

今後、将来の都市構造等をもとに、人口配分を行い、交通発生量・集中量※ 17等を算出し、理想的な都市交通体系を検討していく。

当計画は、平成22年を基準年次とし、20年後の平成42年を目標年次に 設定する。

計画目標年次(平成42年)の推計人口は福島都市圏全域で39万5千人と 設定する。

4) 都市圏の基本理念

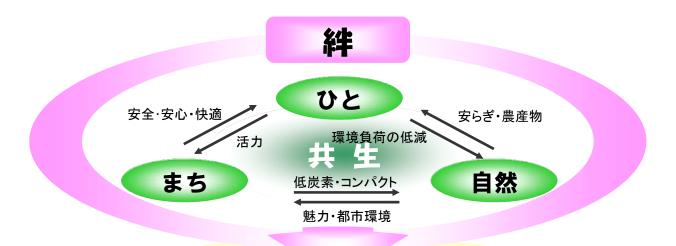
(1) 基本理念の設定

基本理念は、将来の福島都市圏の目指すべき方向性を示し、「将来の都市圏の姿」を明確に示す「標題」であり、福島都市圏都市交通マスタープランで検討する上での基本となる考え方となる。

今後、ここで検討していく基本理念をもとに、具体的な都市圏の将来像を明確にし、福島都市圏での都市交通目標を設定するとともに、その目標を実現していくために必要な様々な施策・事業を検討していく。

(2) 基本理念 (考え方)

「ひと」、「まち」、「自然」、それぞれが互いに尊重し、共生することにより、 人と物が活発に行き交い、新たな絆が生まれるふくしま都市圏を目指します。



「ひと」「まち」「自然」 が共生し 絆が生まれる ふくしま都市圏

5) 都市圏の将来都市構造の方向性

(1) 将来都市構造の検討

都市構造とは、人口や都市機能が集積し、交通が発生・集中する地区(拠点) とそれらを結ぶ道路や公共交通体系(骨格)の総称。

今後は、現状の人口や都市機能の集積から拠点設定を行い、 PT調査結果を もとに各拠点の精査をすることによって、現在の都市構造を明らかにする。 そ の後、それら拠点を結び、都市圏の骨格となる道路や公共交通体系、交通結節 点を検討し、円滑で快適な圏域での道路・交通環境を形成するための施策検討 等を行っていく。

(2) 将来都市構造の検討

都市計画区域マスタープラン (策定中) の県北広域都市圏での構造図に基づき設定していく。

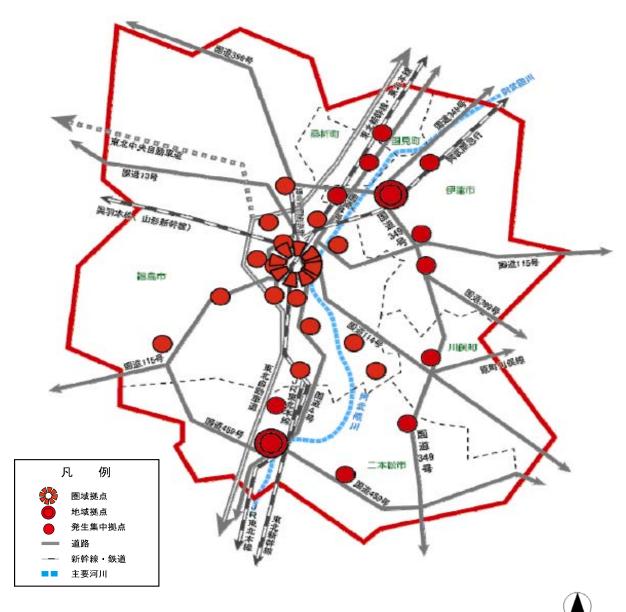


図-福島都市圏都市構造図 (イメージ)

_	20	_
---	----	---